

# 音楽科 授業改善推進プラン

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

○音楽活動に興味・関心をもち、表現しようとする態度が多く見られ、歌唱や器楽でも基礎基本的な知識・技能を身に付けさせることができた。

### (2) 課題

○曲想を感じ取って歌い方や演奏の仕方を工夫し、自分の思いを歌や楽器などで表現するようにすること。

## 2 観点ごとの実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識・技能	・小物打楽器や鍵盤ハーモニカの演奏では、技能に個人差が大きい。	・音楽を感じ楽しみながら、歌ったり、鍵盤ハーモニカを演奏しているが、息が強かったり、拍に合わせて演奏するのが難しい。	・音楽の雰囲気に合わせて歌うことができる。息の強さやタンギングを意識して演奏することが難しい。	・表現力があり、綺麗な声で歌唱することができる。音の重なりで、違うパートを聴きながら合わせるのが難しい。	・リズムを組み合わせて、音楽をつくったりする活動に楽しんで取り組んでいる。	・綺麗な歌声で歌ったり、音色に気を付けて合奏したりしている。
思考・判断・表現	・音楽に合わせて体を動かしたり手拍子したりしながら表現している。	・音楽を聴いて様子を想像しながら楽しんで聴いている。	・歌詞を読んで場面を想像したり、声の強さを工夫したりして表現している。	・旋律の繰り返しや強弱の変化に気付いて鑑賞している。	・歌詞から様子を想像したり、歌い方の工夫を考えたりしている。	・楽器の音色や、強弱速度の変化に気付いて鑑賞している。
主体的に学習に取り組む態度	・歌や楽器に興味をもち、楽しんで取り組んでいる。	・歌や楽器や音楽づくりに興味をもち、楽しんで取り組んでいる。	・綺麗な声で発声したり、リコーダーに興味をもったりして、意欲的に取り組んでいる。	・声をそろえて丁寧に歌うことや、友達と協働して音楽をつくることに意欲的に取り組んでいる。	・楽器の音の重なり注目しながら演奏することに意欲的に取り組んでいる。	・パートの役割を意識しながら演奏することに意欲的に取り組んでいる。

## 3 課題と授業の改善策

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	知識・技能	・鍵盤ハーモニカの基礎基本が身に付くようにすること。	・拍に合わせて歌ったり、鍵盤ハーモニカに慣れ、正しい奏法で演奏したりすること。	・リコーダーの基礎基本を定着させ、一人一人吹く機会をつくるようにすること。	・違うパートの音やお互いの音を聴きながら合わせて歌うこと。	・思いや意図をもち、曲想に合わせて歌うことや、他のパートを聴きながら歌うこと。	・楽曲のしくみを感じとり、互いの声を聴き合いながら声を合わせて歌うこと。
	思考・判断・表現	・音楽に合わせて身体や手拍子で表現すること。	・音楽の良さや楽しさに気が付き、自分の思いを表現すること。	・音楽の良さや楽しさを感じて、言葉で表現すること。	・曲想に応じた歌い方の工夫をすること。	・音楽表現に思いや意図をもつこと。	・思いや意図を、音楽表現に生かせるようにすること。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽を聴いたり歌ったりする活動に楽しんで取り組めるようにすること。	・音楽を聴いて思ったことや感じたことに自信がもてるようにすること。	・綺麗な声で歌ったり、楽器の練習に粘り強く練習に取り組んだりすること。	・曲想に合った歌い方や演奏の仕方に進んで取り組めるようにすること。	・主体的に演奏を工夫して表現すること。	・主体的に練習したり感じたりしたことを発言すること。
授業の改善策	知識・技能	・鍵盤ハーモニカを演奏する前に毎回階名唱をしながら指で練習をする。	・ゆっくりの速さから始めて段階を踏んで練習に取り組みせる。拍に合わせて歌えるようになってから鍵盤ハーモニカで演奏する。	・リコーダー演奏の時は、運指を毎回確認する。 ・リコーダーの基本姿勢を確認し、タンギングの練習を繰り返して行う。	・違うパートの音を聴きながら合わせて歌うことができるように、聴くパートをつくり感想を発表したり、録音して客観的に聴いたりする。	・自然で無理のない歌声で、回りの声を聴きながら歌うことを意識できるようにする。	・互いの声を聴きながら歌えるよう教材を工夫する。また、録音をしたり、聴くパートをつくったりして、音の重なりを感じとれるようにする。
	思考・判断・表現	・拍や音楽の特徴に気付くよう、親しみやすい楽曲を取り入れる。手拍子を取り入れる。	・言葉だけでなく、体を使って表現するなど様々な方法で表現できるようにする。	・語彙を並べたり、友達の意見を共有したりして思いを表現できるようにする。	・絵や写真などを用いてイメージを膨らませて曲想がつかめるようにする。	・音楽への思いや意図を音楽で試したり表現したりする時間を設ける。	・歌い方の工夫や器楽の演奏の工夫について具体的な手立てを示す。

主体的に学習に取り組む態度	・体を動かしたりリズムに合わせて演奏したりして楽しみながら歌う。	・曲を聞いて感じたことなどの良い意見を紹介したり共有したりして自信をもてるようにする。	・個別指導しながら、指づかいを視覚的に捉えることができるよう ICT を活用する。	・歌詞を読んだり、曲の雰囲気確かめたりしながら曲想をつかめるようにする。	・各教材の中で演奏の表現の工夫について考える機会を設ける。	・自信をもって取り組めるよう、教材やワークシートを工夫して発言につなげられるようにする。
---------------	----------------------------------	---	---	--------------------------------------	-------------------------------	--